



インドネシア人  
実習生が、授業で  
作った折鶴。

6月に入り、関東地方も梅雨入りし、暑さも多少和らぎつつありますが、先日、あるベトナム人実習生から「先生、日本はどうして夏に雨が降りますか」と質問されました。今はまだ夏ではないこと、日本の6月は梅雨(つゆ)と呼ばれる時期があり、雨の日が多いこと、約1ヶ月半の梅雨が終わると夏になることを説明すると、「先生、分かりました。私は、日本は毎日暑いですから、今夏だと思いました。」と笑顔で話してくれました。確かに、入梅前は、実習生の皆さんが夏と勘違いしてもおかしくないほど暑い日が続いていましたが、日本に来たばかりの実習生の皆さんの生活は、分からないことや不思議なことの連続なんだと、改めて実感しました。来日前の学習期間が限られている実習生の皆さんにとっては、日本語についてもまだまだ分からないことだらけ。そんな皆さんの「なぜ」に、1つでも多く答えることで、不安な気持ちを少しでも解消し、安心して技能実習がスタートできるよう、日本語指導を通して、支援していきたいと思います。

## あじけんスコープ Vol.33 ～実習生の定番レシピ～



左の写真は、日本語講習最終日に、フィリピン人実習生の皆さんが、持って来てくれたスパゲティーです。実は、このスパゲティー、本校の講師間で評判の、フィリピン人実習生の定番料理。食べると、柔らかい麺に、甘めのミートソースがしっかり絡んでいて、どことなく懐かしい味がします(かつて学校給食で食べた方も多いソフト麺+ミートソースの味に似ています!)。実習生直伝のレシピを紹介しますので、皆様も是非一度、挑戦してみてください。

作り方:

先ず、玉ねぎをみじん切りにして、ひき肉(合挽き)とソーセージ(輪切り)と一緒に炒めます(お好みで塩を入れます)。そこに、トマトソース(市販のレトルトのものでOK)を入れて、煮詰めていきます。最後に 20分~30分茹でたパスタ! (ここがポイント)とソースをしっかり絡ませます。仕上げに細切のチーズを振りかければ、できあがりです。

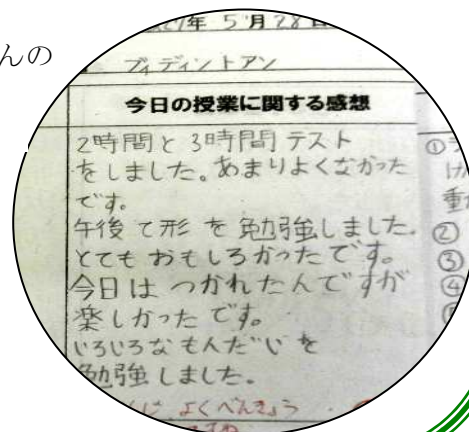
## 今月の実習生



今月は、先日行なわれた修了テスト(筆記)で、100満点を取ったベトナム人実習生のBUI DINH TOAN(トアン)さんを紹介합니다。修了テストでの満点は、1年に1人出るか出ないかの偉業です。漢字表記の危険用語(火気厳禁等)の読み方や意味を答える出題もあり、非漢字圏からの実習生には、特に難易度が高いのですが、トアンさんの答えは、パーフェクト。因みにレベルチェックテストと中間テストは、ともに99点!と本当に勉強熱心なトアンさん。漢字の勉強にも積極的に取り組んでおり、毎日書いている

トアンさんが書いた日報 ⇒

初めまして。私はトアンです。  
私は日本語の勉強がとても好きです。  
でも、私の日本語は、まだまだだと思いま  
す。特に話すことはまだ下手です。これか  
らもう日本語の勉強を頑張ります。



# あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、現在本校で積極的に取り組みを進めている「作業」を通じた日本語指導についてご紹介いたします。

この「作業」を通じた授業で、実習生の皆さんは、講師の指示に従って、何らかの「ものづくり」を行ないます。この活動には、指示を聞く、理解出来なかった点を聞き返す、作業の手順を確認する等、技能実習を安全かつ円滑に進めて行く上で必要になるとと思われるコミュニケーションスキルが満載で、実習生の皆さんは、より実践的に、技能実習に必要な日本語会話を伸ばすことができます。また、作業を通して、効果的に語彙も学習できます。今回紹介する「紙飛行機づくり」では、角（かど）・三角・四角などの基本図形や、様々な色の名詞、見て・聞いて・などの指示表現や、折る・合わせる等の基本動詞を体験的に学習します。また、最後に、自分達の作った飛行機を飛ばし合う活動では、飛ぶ（飛ばす）・落ちる・拾う等の基本動詞、「あぶない！」等の危険回避の表現も練習することが出来ます。講師のアイデアと、簡単な準備で（使用教材は新聞紙と折り紙のみ）、楽しく実践的な日本語会話を伸ばすことが出来る「ものづくり活動」。今後更にバリエーションを増やしていくことで、実習生の皆さんの実践的な日本語学習の実現に取り組んでいきたいと思っております。

つぎに、  
はじをあわせて、  
ここを折って・・・



新聞紙で見本の特大紙飛行機を作成



指示に従って、折り紙で飛行機を作る実習生



見本で作った特大紙飛行機を飛ばす実習生



自作の紙飛行機の試験飛行。安全確保も欠かせません

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」  
バックナンバーもご覧になれます